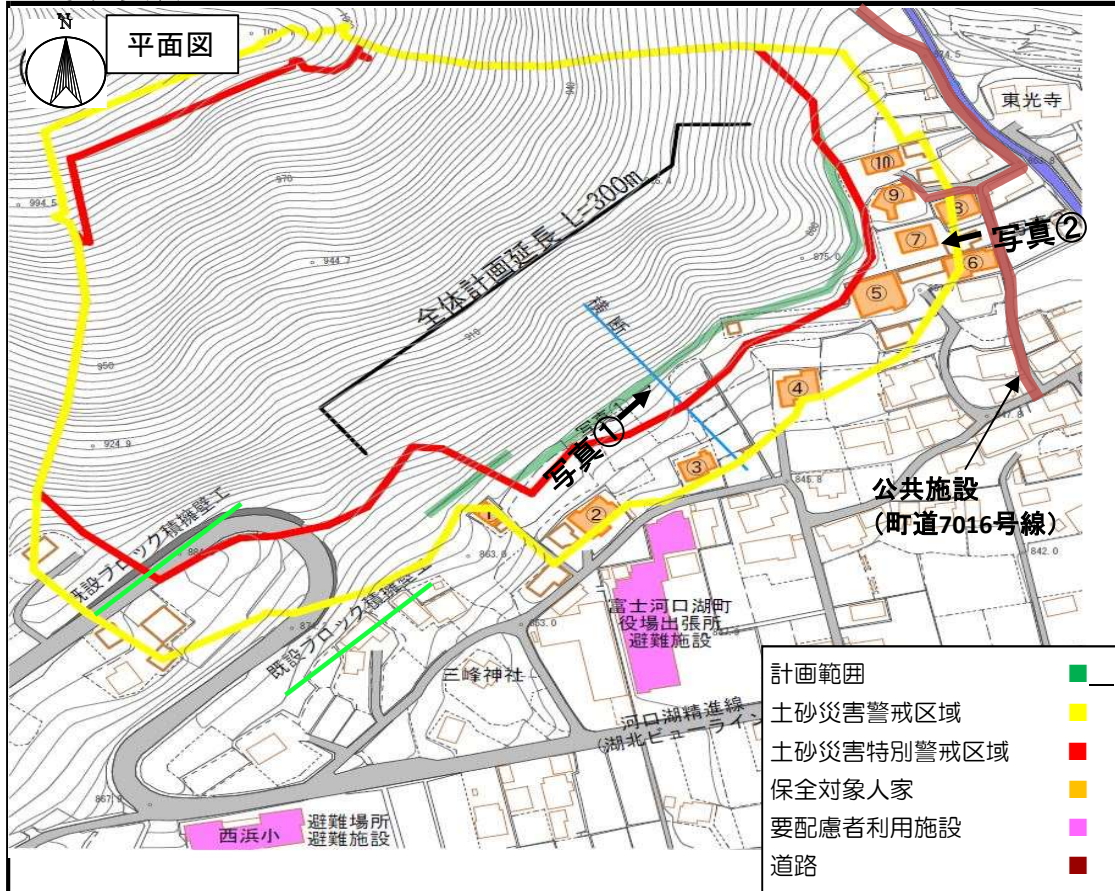


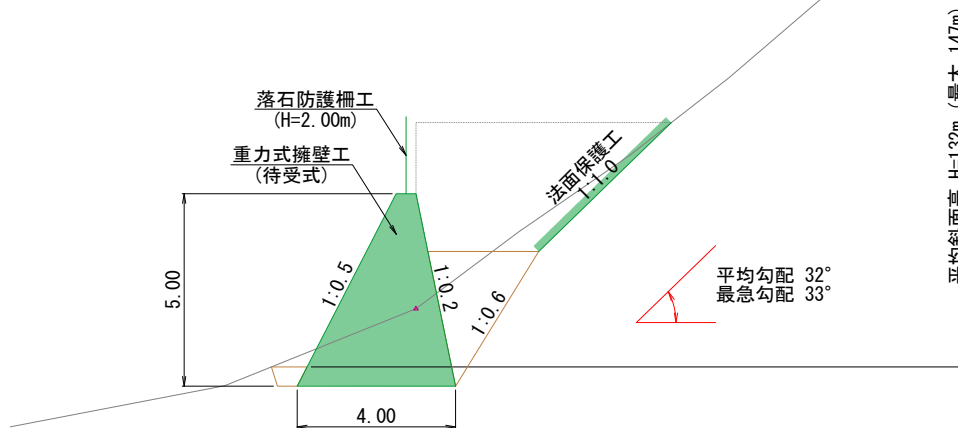
1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業【急傾斜地崩壊対策事業(国補)】	事業箇所	南都留郡富士河口湖町長浜	地区名	上条の1（カミジョウノイチ）	事業主体	山梨県																																							
(1) 事業の概要 ①課題・背景 上条の1地区は、富士北麓地域の富士河口湖町の河口湖と西湖の間に位置する急傾斜地であり、平成18年3月27日には土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は、平均斜面高132m、平均勾配32度の急傾斜地で、保全対象には、人家10戸があり、当該斜面が崩壊した場合、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため事業の実施が急務である。				(3) 事業の妥当性評価																																										
				②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：人家10戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：無 ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 ー				③経済妥当性 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>300 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R10</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>257 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">838 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>257 百万円</td> <td>直接被害軽減効果</td> <td colspan="2">276 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">2 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害</td> <td colspan="2">45 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">515 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/C</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">3.3</td> </tr> </table> ※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている				総事業費	300 百万円	工期	R4~R10	基準年	R3	経済効率性	費用	257 百万円	便益	838 百万円		建設費	257 百万円	直接被害軽減効果	276 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	2 百万円				人身被害	45 百万円					その他※	515 百万円			B/C
総事業費	300 百万円	工期	R4~R10	基準年	R3																																									
経済効率性	費用	257 百万円	便益	838 百万円																																										
	建設費	257 百万円	直接被害軽減効果	276 百万円																																										
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	2 百万円																																										
			人身被害	45 百万円																																										
			その他※	515 百万円																																										
	B/C			3.3																																										
(2) 整備内容 ①整備内容 重力式擁壁工 L=300m 法面保護工 A=1,500m ² ②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和10年度 ④総事業費 約300百万円(国費135百万円(4.5/10)、県費135百万円(4.5/10)、町費30百万円(1.0/10)) ⑤年度別の整備内容 (事業費) <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>35 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>用地測量、用地取得・補償</td> <td>15 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>重力式擁壁工、法面保護工</td> <td>50 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>重力式擁壁工、法面保護工</td> <td>50 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>重力式擁壁工、法面保護工</td> <td>50 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>重力式擁壁工、法面保護工</td> <td>50 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>重力式擁壁工、法面保護工</td> <td>50 百万円</td> </tr> </table> ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 未整備				令和4年度	地形測量、地質調査、詳細設計	35 百万円	令和5年度	用地測量、用地取得・補償	15 百万円	令和6年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円	令和7年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円	令和8年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円	令和9年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円	令和10年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円	④事業実施・規模の妥当性 ○ <input type="checkbox"/> 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。 ⑤整備手法の有効性 ○ <input type="checkbox"/> 地形、地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。 ⑥環境負荷等への配慮 ○ <input type="checkbox"/> 環境負荷の少ない工法を採用する。 ⑦事業計画の熟度 ○ <input type="checkbox"/> 地元要望に基づいており、富士河口湖町から受益者負担金の同意は得られている。																					
令和4年度	地形測量、地質調査、詳細設計	35 百万円																																												
令和5年度	用地測量、用地取得・補償	15 百万円																																												
令和6年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円																																												
令和7年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円																																												
令和8年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円																																												
令和9年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円																																												
令和10年度	重力式擁壁工、法面保護工	50 百万円																																												
総合評価						[貢献度ランク:b]																																								
(4) 事業位置図等																																														

2. 添付資料シート



標準横断



① 斜面状況



② 保全対象

